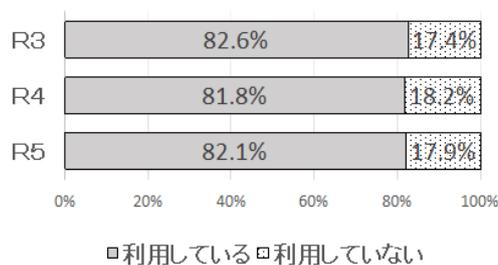


子どものネット・SNS利用の実態

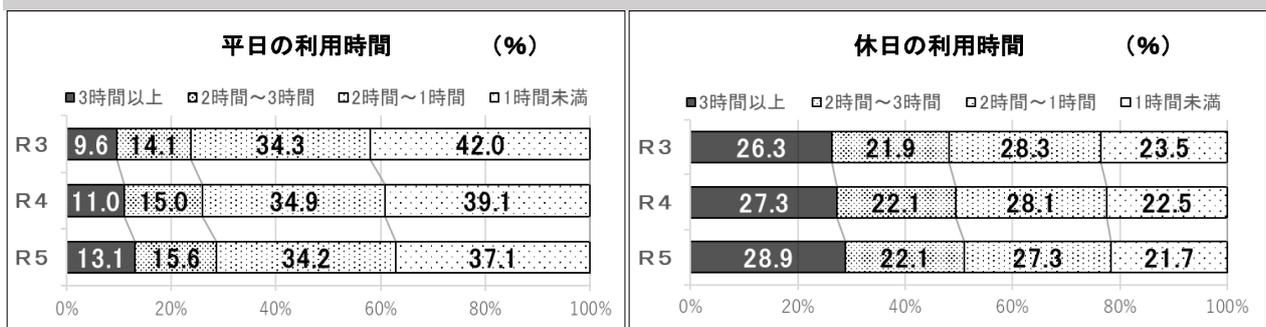
福島県小学校長会

1 家庭におけるネット・SNSの利用状況

- 今年度の調査では、全体の82.1%の子どもがネット・SNSを「利用している」と回答しています。また、利用者のうち、**自分の機器**(自分のものでなくても、自分が自由に使える機器)を所有している子どもは**67.2%**いることが分かりました。
- 利用内容の内訳(複数回答可)をみると、回答の多い順から「**動画サイトを見る**」、「**分からないことを調べる**」、「**通信ゲームをする**」となっています。



2 家庭におけるネット・SNSの利用時間



- 学校に登校している平日の利用時間は、全体的に長時間化していることが明らかになりました。さらに、平日**3時間以上**利用している子どもは、全体の**13.1%**に増加していることが分かりました。
- 休日の利用時間は、平日に比べてかなり長時間化しています。**3時間以上**利用している子どもの割合は、**28.9%**となっています。昨年度と比べて増加しており、長時間利用が常態化していることから、生活リズムの乱れやネット依存が懸念されます。
- 昨年度に引き続き「**ネット依存と思われる状態になった**」という子どもが増加しています。ネット上のトラブルや犯罪被害に巻き込まれる危険性が高まることが考えられ、改善が必要です。

※ 本調査には、学校から持ち帰ったタブレット端末の利用時間は含まれていません。また、ネット・SNSの利用時間については、コロナ禍における生活習慣の影響も考えられます。



3 家庭におけるフィルタリングの設定とルールの遵守状況

- フィルタリング機能を設定しているか「**わからない**」という回答が、**43.7%**ありました。ネット・SNS利用上のトラブルは増加傾向にあり、子どもをネット被害から守るためにも、フィルタリング機能が必要です。
- 「**ルールを守っていない**」と回答した子どもの割合は、**3.1%**で年々増加傾向にあります。
 ルールの目的は、子どもの安全・安心を守ることです。家庭内で子どもが納得できるルールを決め、また、ルールを守れなかった時の対応も話し合っておきましょう。

